

あいあいあい I eye 愛

2024 年

7 月号



5月25日 大郷無農薬交流田(ふゆ水田んぼ)の田植え

人間以外の生き物と恵み分け合うふゆ水田んぼ

理事 太田代 一世

ここは30年以上にわたり組合員と大郷みどり会生産者が交流しながら無農薬でお米を育て収穫の喜びを分かち合ってきた交流田。2023年の収穫後、新たな取り組みとして水を張った状態で冬を越し春を迎えました。冬期湛水(とうきたんすい)＝ふゆ水田んぼです！

ふゆ水田んぼの目的は、かえるの産卵場所を確保すること。かえるは生態系の中で特に重要な位置づけとなる生き物で、中には絶滅が危惧される種類もあります。新たなチャレンジを開始した田んぼに農業体験の組合員を迎えるにあたり、安全に活動ができるのか、雑草の状態はどうなるのか…。生き物の住処となる田んぼにすると同時に、組合員さんがお米を育て収穫する喜びも大切に、例年と変わらないお米の収量を得られるようにと生産者の西塚さんと担当理事間で何度も話し合いの場をもちました。

新年度がスタートしたある春の日、田んぼにはかえるの卵と孵ったばかりのオタマジャクシが沢山！早くも産卵場所になったことを喜びました！

田植えを1週間後に控えたある日、西塚さんから「田んぼの土が硬くて田植えができる状態ではない」と連絡をいただき、急遽代掻きをするようになりました。その甲斐あって田植え当日は、登録組合員と生協職員、昨年から調査に参加している東北大学の学生さん、そして生産者の皆さんの協力のもと例年と変わらず田植えができました。

交流田の周辺は地形といい、今では珍しい土側溝といい、素晴らしい環境が残っています。ふゆ水にすることで生き物や植物にどんな変化があるのか。私たちが望む結果になるかどうかは今ばかりかもしれません、長い時間がかかるかもしれませんが、この活動と意思を繋ぎながらかえるが孵るたんぼを目指して今年も米作りをしていきたいです。

CONTENTS

▶2024 年度 委員オリエンテーション開催 ……2
▶七郷トライ田んぼ今年も作付け ……3

▶7 月はシャボン玉月間「さいかち」で洗濯 ……4-5
▶「じゅんかん！」BMW 技術交流会に向けて ……6

▶地域ボランティア補助金とは ……7
▶今日はコレ！わたしのおすすめ ……8

5・23 委員オリエンテーション

「学びがもたらす豊かなあいこープライフ」開催

委員会活動について確認し学べる場でもある「委員オリエンテーション」。今回は私達、魚食プロジェクトメンバーが企画し、魚食をテーマに商品学習会をしました。

ゲストの丸友しまか・島香社長からは、魚プロ認証商品「揚げかまぼこ」を話題に、自ら競り落とした魚をすぐ自社へ持ち帰り下処理し、その後の工程に入ってお話を聞きました。実は当日試食に出す予定の揚げかまぼこの原料、真タラの水揚げがなく、急遽「真イワシの甘辛煮」をご準備いただきました。しまかさん



魚食について組合員の生の声を聞く島香社長(左から2番目)

こだわりの調味料も実食でき、参加者から「おいしい!」と高評価でした。お話後は各グループで意見交換をしました。カタログ掲載のおススメ水産品や「お年寄り向けの食べやすい水産品が欲しい」「宮古重茂の焼きウニ、塩ウニがあれば嬉しい」という要望もシェアしました。終盤のお楽しみは島香社長とのジャンケン大会!特製詰め合わせセットを巡って、主婦たちの本気度も垣間見えた賑やかな時間でした。

魚プロ担当理事 藤田 紀子



ジャンケン大会決勝戦
気合が入ってます!

5/28〜6/7 《議案書説明会》 8か所で開催

6月27日(木)に開催される通常総代会を前に、表決に参加する総代の皆さんを対象とした「議案書説明会」が各地区で開催されました。

90名の総代と4名の一般組合員(傍聴)の参加があり、あいこープの事業や活動について活発な議論がなされました。一部の様子を紹介します。

◆5/28 仙南地区

下増田公民館にて仙南地区の議案書説明会を開催しました。説明後いくつかのご意見やご質問をいただきました。事業に関して「ミートセンターで加工しているお肉の部位バランス状況はどうなっていますか? 余剰のお肉はどのくらいあるのか 組合員として知って購入していきたい」や、「ジヨイケアによるケア中に緊急事態が発生した場合の、対応フローの精度を上げてほしい」という意見もありました。総代さんの声を聴くことは、今後の生協運営や方針、活動を形作る上で貴重な機会となりました。

担当理事 三浦 一枝

◆5/31 青葉AB地区

北山市民センターにて開催しました。担当理事より、前年度の活動・事業報告や今年度の活動・事業方針を説明しました。説明の後、第3号議案のワーカーズ設立についての意見が活発に交わされ、また商品についての要望や活動・事業についての意見や質問も出ました。過去には議案書説明会や総代会で、組合員の発言により商品パッケージ仕様が変更されたことや、新たな活動が始まった例があります。組合員が抱えている想いを伝え、受け取り、あいこープがより良いものとなるきっかけの場が議案書説明会です。改めて、あいこープが協同組合であることを実感できる会となりました。

担当理事 八重畑 ゆかり



5/30 しおさい地区の
議案書説明会の様子

無農薬で6年目の作付け

5月18日 トライ田んぼ田植え



温かくやわらかな泥の感触！

組合員とともに無農薬の米作りに挑戦する七郷トライ田んぼ(仙台市若林区)にも、6回目となる田植えの時期が訪れました。産地交流の年間計画の中では一番初めの活動ですが、この日までに田起こしや水張り、代掻き、苗の準備などたくさんさんの作業があります。今年も七郷クローバースファームのみなさんが準備万端整えて組合員家族を迎えてくれました。

植え方の説明があつた後、大人も子どももさつそく田んぼの中へ。トロトロの泥に足をとられて最初は歩くのもままなりません、小さな



田植え機に乗せてもらう子どもたち



説明をする阿部哲也さん
(七郷クローバースファーム)

緑色の苗を泥に押し込んでいく感触に稲作民族の血が騒ぎ(?)ます。泥だらけで走り回る子ども達を横目に、「(条が)ずいぶん曲がってるなあ」「あそこに植え残しがあ——と真剣な眼差しの大人達。1時間ほどで田んぼの半分を手植えた後には田植え機のデモンストラーションを見せていただき、その速さに愕然としました。次は除草作業でお会いしましょう。

理事 石井 朱里

気分はすっかり「りんご生産者」

天童トライりんごオーナー「摘果」

花も葉もないりんごの枝を剪定したのは3月のこと。花が咲き、蜂が受粉を手伝ってくれて、6月1日の園地には梅の実サイズのりんごが枝にひしめいていました。今年3度目の作業、園地に通うトライりんごのオーナーは、もうすっかり生産者気分です。

今回の作業は「摘果」。密集するりんごの実の一番良いものを残し、周りの実をハサミで落としていきます。生産者の片桐謙二さんを選び方を教わり、皆さん手際よく(?)パチンパチン。いつしか地面には小さな実がたくさん転がっていました。

神経毒であるネオニコチノイド系農薬(以下ネオニコ)について学び、それを使わない果樹栽培がどんな苦勞を伴うか、園地での作業



摘果前



摘果後

の中で少しずつ分かってきました。木の幹にあるこぶの部分や枝に、白い綿状の「リンゴワタムシ」が居座っています。アブラムシの一種で、ワタに包まれているから殺虫剤も効きにくいとのことですが、ネオニコは効果が高いそう。しかしここは脱ネオニコ園地ですから、私たちは殺虫剤ではなく手作業で駆除します。バーナーに火をつけてワタムシを焼く作業も体験させてもらいました。

今回は7月末。もう一度摘果をして秋の実りを目指します。どんな愛着がわいてくる私たちのりんごは、もっと大きく、もっとりんごらしくなっていることでしょう。

理事 鈴木 真奈美



だんだん手際が良くなるオーナーたち

はじめてみよう♪さいかちでお洗濯



「使うなら合成洗剤ではなく石けんを」
せつけん運動ネットワークでは、毎年7月
を「シャボン玉月間」として、暮らしの中の
合成洗剤を減らすキャンペーンを行って
います。今年の標語は
「あなたの選択で未来が変わる〜始めようせつけん生活〜」

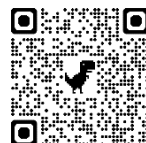
本特集では、昨年リニューアルした
「めぐる石けん・さいかち」を使った地球
と身体に優しいお洗濯を紹介します。



▶ 今年のシャボン玉月間啓発用ポスター

▼ せつけん運動ネットワークの

ホームページはこちら



さいかちってどんな石けん？

使用済み食用油を原料にした「リサイクル粉石けん」
です。成分は純石けん分(脂肪酸ナトリウム) 67%、助
剤として炭酸塩が含まれています。

長らく社会福祉法人みんなの輪「わ・は・わ広瀬」で製
造されていましたが、昨年「わ・は・わ味明」の敷地に新
工房が建設され、それを機にあいコープのPB(プラ
イベートブランド)商品の一つとしてリニューアルを果
たしました。



新しい石けん
工房と
石けん環境委
員会メンバー

★さいかち洗濯のコツ★

①よく溶かして泡立てよう

洗面器や洗濯槽の中でまず石けんを
泡立ててから洗濯物を入れましょう。

②適量を使おう

洗濯物の量や汚れの度合いに合わせ
て、たっぷり泡立った状態で洗える量
の石けんを使いましょう。(多少の経験
値が必要かも！)

③酸ですすいで中和しよう

柔軟剤の代わりにクエン酸やお酢を
少量入れてすすぐと、石けんのアルカ
リ分が中和されてふんわりします。
石けんカスの予防にも◎

④早く乾かそう

乾くのに時間がかかるほど、空気中の
雑菌が付着・繁殖して臭いの原因にな
ります。外に干せない場合は扇風機の
風を当てるなど工夫して。

粉せつけんのお洗濯はちよつとハードルが

高くて…実際に使ってみてどうなの？

最近さいかちで洗濯をするようになったという石け
ん環境委員のRさん、Kさんに聞いてみました♪

◆さいかちを使う前は洗濯に何を使っていましたか？

- ・水ばしろう
- ・ポーソー油脂の洗濯用液体石けんなど。さいか
ちは食器洗いにしか使えないと思っていました。

◆さいかちお洗濯の感想をどうぞ！

- ・さいかちは油の匂いが残るかも？と思っていま
したが、気になりませんでした。洗い上がりもこ
れまでと同じような感じです。
- ・溶け残りが心配でしたが問題なく使えました！
液体石けんと比べて遜色ないです。



をて濯
ち立洗
か泡入
い泡入
さよく
よく物
てか入
てか入
のが
のが
コツ！



ほとんどの汚れは水やお湯で落とせます。石けん(合成
洗剤)も有効なのは、油や皮脂など油性の汚れ。石け
んの使用もなるべく少なくして、できるだけ水を汚さない
生活をしよう！というのがせつけん運動です。

身の回りにあふれる有害化学物質の問題に

全国の仲間とともに取り組んでいます！

発達障がい児の増加や生殖危機の進行は、環境ホル
モンや脳神経かく乱物質の関与が指摘されています。
プラスチック製品に含まれるビスフェノール類、最近
話題のPFAS(有機フッ素化合物)、マイクロプラ
スチック、香害の問題点など海外の規制に学び、有害化
学物質による子どもへの発達・健康への悪影響防止をめ
ざす子どもケミネット(有害化学物質から子どもを守
るネットワーク)にあいコープも参加しています。

■子どもケミネット

昨年の4月に設立した子どもケミネッ
トでは、人体に影響がある環境ホルモン
(内分泌かく乱物質)や脳神経かく乱物
質の世界の最新研究結果を学び、警鐘を
鳴らしてきました。特に、農薬再評価の
問題点を指摘し、関係省庁に要望書を提
出しました。2年目の活動では、身の回
りに潜む有害化学物質に着目し、子ども
のおもちゃに含まれるフタル酸エステル
類の調査を実施しています。11月に韓
国で開催される「国際プラスチック条約」
制定に合わせてプラ削減と同時に有害
化学物質規制に向けた政策提言を進め
ます。

(詳しくは下のQRコードから)



5/24 パルシステムでんき募集再開の説明会

パルシステムでんきは福島原発事故を教訓に、原発由来ではなく自然エネ
ルギーの電気で暮らす社会、資源循環型の社会をつくる事をめざして発足し
ました。2020年からの電力料金高騰により売れば売るほど赤字になるとい
う状況になり、2022年から新規契約をストップしていましたが、今年の4月
から再開されたのを機に大安社長と奥田課長があいコープみやぎを訪問さ
れました。電気料金値上げの際もあいコープみやぎ組合員の契約解除はほぼ
なく大変ありがたかったと仰っていました。今後は再エネ率75%を目標に、
環境にやさしい発電所を増やしていくそうです。

(理事 櫻井 洋子)



7名の理事と職員が参加

6/8 東北大生による生き物調査 2年目スタート！

ふゆ水田んぼとなった大郷無農薬交流田の生き物の種類や数を記録し、環境の
変化や成果を検証したいと、昨年度より東北大学の学生に調査に参加してもら
っています。今年度もすでに5名の新1年生が登録し、6月8日より活動を開始し
ました。昨年度は調査法も手探りで、参加した学生の皆さんから「もっとこうす
ればよかったのかも」という反省や気づきも。今年度はそれを活かし更に発展し
た調査活動を進めて行く予定です。未来を作る若者が私たちの生協活動に加わる
ことで、互いに良い刺激にもなっています。

(理事 鈴木 真奈美)



水生昆虫を調べる学生の皆さん





BMW技術全国交流会に向けて



実行委員会で話す大郷GF西塚さん
(みやぎBM技術協会会長)

あいこープの農産、畜産生産者の大いなる助けとなっているのがBMW(バクテリア・ミネラル・ウオーター)技術です。家畜の排泄物や食品の残渣など、往々にして厄介者扱いされるものを「資源」とし、微生物と鉱物(ミネラル)の力で分解する技術で、生き物にとつて良い水や土を作ることができます。あいこープの生産者の生産現場では、生物活性水を作ることにより農畜産に役立てており、「かじゅんかん!」の連載で毎月お伝えしている「あいこープ資源循環型農業推進プロジェクト」では、この技術を主に堆肥づくりのために最大限活かそうと、各生産者が取り組んでいます。

BMW技術を学び、活用する数々の団体(あいこープもその一つ)が集まる全国交流会の開催が、今年は11月12〜14日に決定し、去る5月23日に第1回実行委員会が秋田県鹿角市で開催されました。あいこープの吉武悠里常務、大郷グリーンファーマーズの西塚忠樹さんも出席し、3日間のスケジュール案などについて話し合いを行いました。交流会当日、取り組み報告の時間には、あいこープの資源循環プロジェクトや、石けん環境委員会によるBM活性水の暮らしの活用などが紹介される予定だとか!楽しみです。



奥入瀬の苔むした岩から生える草や木

中の岩石や原生林とも言える木々、藻類に釘付けだったそう。十和田湖形成時の噴火岩から立派な木が根を伸ばし、土のないところでも成長している様子に、岩石と水と生物の関連性を感じたと西塚さんは語ります。「これこそが現在の生命溢れる地球誕生のメカニズム」と表現するのは吉武常務。そんな、自然の摂理を「技術」として活用するBMWには、今後大きな期待が寄せられます。

(文責:理事 鈴木真奈美)



みんなの 資源循環プロジェクト

— 第6回 —

「資源循環型農業プロジェクト」に参加させて頂いて、堆肥が目的によって非常に科学的な根拠に基づいて設計され、長い時間と労力をかけて作られていることに驚いています。花兄園の役割は堆肥の原料となる鶏糞の供給ですが、栽培農家さんにとって利用しやすい鶏糞を製造供給することでデッドコストになりがちな鶏糞を利益に変わる宝に変えられるのでは...と期待を持っています。

まだまだ勉強不足ですが、循環の環の一つとして機能できるように学んでいきたいと思っています。

花兄園 大須賀 裕



組織概要

(2024年5月分)

【組合員数】	18,643名
【供給高】	262,106千円
【一人実利用高】	5,476/週
【出資金】	1,362,637千円

理事会議事録抄

2024年6月4日(火)

▼組合員活動を通じた人材育成(ゼロイチ企画)を承認した▼2024年度議案書の正誤表を承認した▼2024年度議案書説明会Q&Aの進捗を確認した▼2024年度総代会第3号議案の撤回を承認した▼2023年度ジョイケア収支報告を承認した▼役員理事報酬審議会報告を承認した▼安定ヨウ素剤配布会企画案を承認した▼ながめやま牧場見学バスツアー企画案を承認した▼天童りんご園地見学ツアー企画案を承認した▼役員賠償責任保険および雇用賠償責任責任保険の加入を承認した。



みんなの料理法が聞けて、注文したことのない商品も試してみようと思え、新チャレンジの新鮮な気持ちになりました! 参加して良かったです。(2024年度委員オリエンテーション参加者感想)

組合員のボランティア活動を応援します。

あいコープは行動理念の一つに「人と人の輪を大切に」として、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。」を掲げています。この理念の実践としてジョイケアシステムを作り、組合員同士のたすけあいや地域福祉活動に取り組み団体への支援を行って来しました。

「地域づくり」には様々な自主的なボランティア活動が大きな役割を果たしていますが、そんな活動に参加する組合員を幅広く応援するために、昨年、ジョイケアシステムに「地域づくりボランティア活動応援補助金制度」を立ち上げました。第1回目の募集には11団体から申請があり、書類審査と面談による選考の結果9団体に補助金（1団体1万円）を給付しました。



応援した団体の活動取材し紹介しました。

地域の清掃活動、本の読み聞かせ、高齢者の慰問、こどもの居場所作り、生きづらさを抱えた人たちの自助グループ、障がい児者と共に活動されている人達など様々な「誰もが安心して暮らせる地域づくり」に取り組む組合員を応援することが出来ました。

今年度は7月15日月曜日から配布するチラシで今年度の応援補助金申請を募集します。多くの方の応募をお待ちしております。

私のオススメ商品



私のおすすめは放牧パスちゃん牛乳（奥羽乳業）です。山形県飯豊麓の豊かな自然に囲まれたながめやま牧場でのびのびと飼育されている乳牛の原乳を使い、一般的な牛乳より低温で殺菌するパスチャライズ製法により、生乳本来の風味と甘みを味わえる牛乳です。我が家では毎朝飲んでおり、特に小学生の娘が一番のお気に入り。あいコープで人気No.1商品をぜひお試しください。 事業部 千葉健太郎

い、一般的な牛乳より低温で殺菌するパスチャライズ製法により、生乳本来の風味と甘みを味わえる牛乳です。我が家では毎朝飲んでおり、特に小学生の娘が一番のお気に入り。あいコープで人気No.1商品をぜひお試しください。 事業部 千葉健太郎

編集後記

今月号の特集で「さいかちで洗濯」を提案しています。12年前娘を産んだ時、あいコープから贈られたお祝いの粉せっけんに「出産直後の多忙な私に手間かけて泡立てて洗濯しろと？」と否定的な反応をした私(笑)。有害化学物質などあらゆることを学んだ今、送り付けてくれたあいコープと使い方方を教えてくれた委員さんに心から感謝しています。多少の手間をかけても守らなければいけないものがある。日々のたくさんの「大変」から、命と健康を守るための手間を優先したいです。

広報担当理事 鈴木 真奈美

委員さん募集中！

あいコープの仲間と
食のこと
環境のこと
一緒に話しませんか？

お問い合わせ先
☎ 0120-255-044
Fax 0120-849-324
Email soshiki@mamma.coop
(担当：組織運営室長 豊嶋)



組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケア事務局へ



0120-50-7277 平日 9:00～17:00

年金相談・・・8/20(火) 社会保険労務士 清野道子氏
13:30～15:30

法律相談・・・8/7(水)、8/21(水) 弁護士 倉林千枝子氏
13:30～15:30

子ども相談・・・次回回は9月＊ 宮城教育大学教授 菅井裕行氏

＊介護相談は相談日のご希望を伺います。

介護相談 (ケアプランセンター木もれび 山崎彰子氏)

ジョイケア利用状況 (2024年5月分)

ささえあい(保障)	3件	◆集団託児	
たすけあい(ケア)	13件	利用延べ人数	9名
集団託児	7件	◆ケア時間	35.0時間
慶弔・出産	10件		
電話相談窓口	2件		
計	35件		

▼随時予約可能です▼各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい▼金曜日が祝日の場合は直前の平日の受付時間まで受付します▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。



●雑草を抜いたり押し込んだりしながらカエルやおけらと触れ合い、体の疲れよりも心の疲れがとれたようでした！その後のおにぎりが美味しいこと！（大郷ふゆ水田んぼ参加者アンケートより）



今日は
コシ!

わたしのおすすめ

〈第3回〉

今月の食材

米沢郷の鶏もも肉 (米沢郷牧場)

私のおすすめは米沢郷牧場の「米沢郷鶏もも肉」です!

米沢郷牧場は生産者と消費者を自然の恵みを通して繋げる「自然循環型農業リサイクルシステム」のパイオニア的存在。抗生物質に頼らず鶏を健康に育て、輸入飼料は収穫後農薬不使用、非遺伝子組み換えのものを採用。さらに自社の生産者グループで栽培した飼料米や米ぬかを用いて、自家製発酵飼料も作っています。

良い餌を食べ、BMW技術の生物活性水を飲みながら鶏たちが暮らすのは、もみ殻が敷かれ自由に動き回れるスペースがある鶏舎。自然の

風を感じ、太陽の光を微調整してもらいながら、鶏たちは生き物らしい暮らしをしているようです。健康に育てられた鶏のもも肉はしっかりと身質でありながら硬いわけでもなく、ジューシーで良い味が溢れる美味しさ。冷凍なので買い置きにも重宝します。鶏もも肉はメイン料理だけでなくスープやうどん・そばの具にも大活躍! 出汁と脂の旨味がたまりません! 私達の健康な身体作りのためにも、良質なたんぱく質を頂きたいですね。

食育コンダクター※ 工藤 智恵美

※食育コンダクターとは…NPO法人とうほく食育実践協会が育成・認定する「食の伝道師」。約1年間、養成講座を受講して食の根幹を学んだメンバーが、食育の現場で活躍している。

米沢郷の鶏もも肉で作る「炊飯器でカオマンガイ」



米2合を、硬めの水加減で調整し、塩胡椒、鶏がらスープの素、すりおろした

にんにくと生姜を加えて混ぜる。平らにならし、鶏むね肉一枚を乗せ、普通のコースで炊飯。



タレを作る。
ごま油、醤油、酢、はちみつ、オイスターソース、すりおろしたにんにくと

生姜、みじん切り長ねぎを混ぜ合わせる。好みでナンプラーやラー油など加えても良い。



もも肉を取り出し食べやすく切り、鶏の旨味を吸って炊けたごはんとは好みの野菜を盛り付けて完成! タレをかけて召し上がれ!

今後の予定

開催決定!

Wa!わ祭り2024

～仲間の輪を広げよう～



日にち 2024年11月2日(土)

時間 10:00~14:00 《予定》

場所 仙台卸商センター サンフェスタ

(仙台市地下鉄東西線「卸町駅」から徒歩7分)

10/中旬

脱原発エネシフ委員会主催
放射能被ばくから身を守るための
安定ヨウ素剤配布会

場所/名取市 下増田公民館 (予定)

時間/10:00~12:00 参加費/1家族 500円

※詳しくは今後発行されるチラシをご覧ください

女川原発が止まってから

4862 日目

(2024年7月1日現在)